

私の屋久島

今、思う

元上屋久町役場 土居 隆行さん

私は、平成10年4月に当時の熊本営林局から上屋久町役場へ出向し、屋久島で2年間を過ごしました。実は赴任する前年の8月に屋久島を訪れたことがあり、屋久島の自然が生み出した風景に圧倒されたことを覚えています。

今、脳裏に焼き付いている風景は、樹齢数千年のスキでも、豪快に流れ落ちる滝でもありません。

真っ白な花崗岩の間を流れる清流、どこまでも紺碧に澄んだ海、常に水に溢れ鮮やかな苔の緑で埋め尽くされた森。これらがすぐ手の届く所に当然のようにあることが屋久島の本当の魅力だと思います。

いつまでも屋久島を訪れる人に感動を与え続ける島であることを願っています。



縄文杉の樹勢回復及び植生回復措置工事 本年度工事完了

本工事は工事後の経過を見ながら三々四々年かけて実施するもので、平成十一年度の予定箇所が三月二十二日に終了しました。

樹木医による樹勢診断の結果に基づき、昨年三月に土壌の改善と加湿軽減の排水対策、階段状編柵の設置、土壌改良の試験施工をし、その効果についての調査結果を踏まえて本年度、本格工事を実施しました。

デッキ下のカナクキノキ保護のための木柵工九・五mを施工しました。材料は、近くから採取した編柵用のそだ・杭木及び客土用土壌を使用し、更に土壌改良には、現地採取した客土、腐葉土の外に活性炭と木液を混合して使用しました。縄文杉下斜面の木片、土のうを取り除くと五〇〇六

本年五月に開催される世界自然遺産会議に多くの人の参加意識の高揚を図る目的で、「屋久杉の名付け親募集」(九州森林管理局主催)を本誌五八号等で行ったところ、一一五〇点の応募がありました。応募の状況を見てみると、①特徴を形容したもの②育った時代を背景にしたもの③世界自然遺産会議を

屋久杉の名付け親募集に予想を上回る多数の応募

林外雨及び渓流水のモニタリングを継続

意識したものの④西暦二〇〇〇年にちなんだもの等が多くを占めていました。多数の名前が寄せられたことで、選考される小学生・選考委員の皆様にはご迷惑をかけますが、すばらしいピットリの名前を選んでやって下さい。なお、選考結果は世界自然遺産会議記念環境フェスティバル(五月十二日〜十四日)で発表、名付け親なられた方は五月十八日ヤクスギランドに御招待し命名証書及び記念品を贈呈します。

屋久島の植物



ヤマザクラ (バラ科)

この時期、山の所々に艶やかに彩りを添えているのがこの植物。宮城・新潟県以西の本州、四国、九州に広く分布している。(三月下〜四月上)これより少し遅れて咲く代表的なサクラが、染井吉野で、オオシマザクラとエドヒガンの雑種。観賞用として広く植栽されている。(四月上)

箇所(林外雨と渓流水を森林総合研究所九州支所に依頼して分析して頂きましたが、今までの調査で、自然環境に恵まれた屋久島においても本土並みの酸性雨が年間を通して降っていることが確認されています。今後は、その原因を調査する目的で同研究所の指導の下に、硫黄同位体比及びス

トロンチウムの調査をすることを検討しており、既に採取装置は調査目的に沿うよう新たに設置しています。また、水質調査と並行して大気の観測も実施することとしており、これらの調査結果で、酸性雨の原因解明の一助になればと考えています。

お知らせ

☆屋久島森林管理署長が代わりました。4月1日付け 新署長 中西誠(森林総合研究所から) 旧署長 小島孝文(林野庁へ)

☆保全センター人の動き 4月1日付け 転入 専門官(森林生態系保護担当) 大森貢(森林技術総合研修所から) 転出 専門官 川崎秀親(大隅署へ) 庶務主任官 下村治雄(加治木事務所へ) 所員 石崎宣彦(小瀬田森林事務所へ)

屋久島生態系保護地域などにおける学術調査等の入林状況

(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

1. 植物関係

目的	代表者	所属	地域	備考
天然林の純一次生産速度測定	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	2, 76, 81, 204	
ヤクスギ天然林施業更新状況調査	寺岡行雄	鹿児島大学農学部	101と	
カクヅキとカマアジサイ、ヤクスギカクヅキの分布調査とこの3つ及びカクヅキとカマアジサイの分布	戸坂芳朗	鹿児島大学理学部生物学科	250外	
植生調査	大沢雅彦	千葉大学理学部生物学科	2, 204	
ヤクスギの球果及び種子の生産量調査、枯死過程及び枯死要因の調査	齋藤明	九州大学農学部林学科	47, 48, 66	
ヒメカカラの分類学的研究のため	加藤英寿	東京都立大学牧野標本館	愛子岳歩道, 安房林道, 花之江河～黒味岳	
第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査	今井宣弘	(株)新和技術コンサルタント	4, 10, 16, 204	
シカが植生に与える影響	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	8	
スギの天然更新調査	前田禎三	東京大学科学博物館協力研究員	9, 85, 86	
ヤクスギ天然更新林分調査のため	寺岡行雄	鹿児島大学農学部	101と・ぬ	
ヤクタンゴヨウの生体木調査	手塚賢至	ヤクタンゴヨウ調査隊	4, 47, 48, 66	
屋久杉の着生樹等の共生植物についての調査外	田中浩樹	東京学芸大学冒険探検部	永田歩道沿い(竹の辻周辺)	

2. 動物関係

目的	代表者	所属	地域	備考
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
野生ニホンザルの社会生態学的研究	半谷吾郎	京都大学理学部	1～4	
シカの植生への影響の調査	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	3, 8	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
生態学の研究	野間直彦	滋賀県立大学環境科学部	1～4	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
ニホンザルの個体数調査	半谷吾郎	京都大学理学部	8～11	
ニホンザルの生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
西部林道及び安房林道周辺のヤクシマザルの餌付き方の調査外	杉浦秀樹	京都大学霊長類研究所	1～4	
コウモリ類の生息調査	揚妻直樹	秋田経済法科大学	1～4, 213～216, 80～81	
ニホンザル生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9	
「ヤクシカのフン」の調査	永井真紀子	日本大学生物自然科学部	永田歩道周辺	
ヤマヒルの生息調査と採集	山中征夫	東京大学千葉演習林	永田・花山歩道, 大川林道	
ニホンザル生息環境把握のための植生調査	半谷吾郎	京都大学理学部	9, 14	

3. その他

目的	代表者	所属	地域	備考
酸性雨調査	永淵修	福岡県保健環境研究所	3, 61, 97	
土壌調査	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	2, 76, 81, 204	
入込み者自動観測システムの構築のための調査	枚田邦宏	鹿児島大学農学部	81, 100, 101	
屋久島地域における大気汚染(酸性雨等)の実態及び影響調査	古賀実	熊本県立大学	4, 221, 228	
エコツーリズム対象サイトでのGPS測位精度の調査	酒井徹朗	京都大学情報学研究所	1～4, 85, 86, 213～215, 99～101	
屋久島フィールドワーク講座実習のため	山極寿一	京都大学大学院理学研究科	1～14, 80～86, 204, 205, 212～215, 257, 258	
屋久島地域における大気汚染(酸性雨等)の実態及び影響調査	古賀実	熊本県立大学	4, 221, 228	
屋久島の花崗岩の上昇機構を明らかにし、独特の生態系環境の成立と復元する	安間了	筑波大学地球科学系	237～240, 250～252, 217～219	